

破天荒

教宣部

4950号

2013年
5月22日

化学一般京滋地本
全竹中労働組合



コンプライアンス の企業に

長い期間、組合対策を前提とする経営政策が行われた結果、歪み誤った方針（組合員対象となる人材を採用しないなど）のもと、企業が発展しない状況になった。・は言い過ぎでしょうか。そして現在の経営方針は組合のないエンジニア理想形として進められている……ですか。

竹中グループはグループセンター（管理会社、持ち株会社、経理会社）を中心とした、資本の所有と経営の關係が一体化の「オーナー経営者」の会社です。創業者から引き継いでの二代目オーナーです。

ささいワンマン経営に陥りやすいなどの欠点も多くあります。経営機能が集中するオーナー経営者に望むことは、周囲に耳を傾けた企業運営を進めてもらうことです。グループ各社の社長は雇わ

れ社長なので、オーナーの顔色を伺いながらの会社経営にはなると思いますが、オーナーに言うべき意見は言える、従業員の声は聞いていける体制であってほしいと思います。また、各社において社長に対してモノを言えるひとが居ることが必要です。

ることは、オーナーの考えられている「社内倫理」を優先させるため、誤った方針であつても「企業利益」が第一として行われているのではないかといいことです。「名ばかり管理職」のやり方での残業代不支給、残業を申告できない雰囲気作りでの不払残業、年次有給休暇が取得しにくい職場の実態、定年再雇用での「組合員差別」と思える仕打ちなどが改善していくことを望みます。



職場の風土は、そこに依存する問題に対して、人が如何に行動するかで形成されていく。竹中電子では労働組合員の減少と共に、風土が変わってきたとつくづく感じている。以前から引き継がれているもの（遅くまで残っている人ほどよくやっていると評価されるとか）もあることはあるが……。

天声竹語

お知らせ

6月 4日(火)
夏一時金臨大

6月 5日(水)
夏季一時金団交



森通子さん(元購買)享年71。5月18日、お通夜に行つてきました。華道の師匠など地域で活動されていたようで、参列者が四宮のセラマホールから溢れる状況でした。

組合員の退職者はなぜか女性が早く亡くなつていきます。橋本さん、富屋さん、森さん、3名とも癌が原因です。「あと、森下やよいさんだけです」と失礼な発言をしてしまい、本人から大いに叱られました。なお、やよいさんは無茶苦茶に元気

岡さん(退職者友の会長)老、小林さんとも会いまして、両名とも元気で、清水さんと私を含めた4名でビールを飲みつつ、森さんを偲んできました。

竹中には少数ながら労働組合が存在しています。声を聞かせて下さい。

訃報

破天荒で、残業はきつちり申告を、有給休暇は自由に取得を、など記載しても仕方がないとは思っている。なぜなら、その風土を作っているのは、その職場にいる人たちだから……。

電子、システム、オプトでは中途採用や転籍で人員補充が進められている。団塊の世代から若い人へ世代交代は当然のことと思う。新しい人へ「職場の風土についてどう思いますか。白いものは白、黒いものは黒と言える環境ですか」。